

◆ 学 位	学 位 名	修士 (言語文化学) 大阪大学	修士 (教育学) 鳥取大学
	取得方法	論文 平成 14 年取得	論文 平成 18 年取得
◆ 学 歴	大 学	鳥取大学教育部総合科課程社会文化コース 平成 11 年卒業	
	大 学 院	大阪大学大学院 言語文化研究科 博士前期課程 平成 14 年修了 鳥取大学大学院 教育学研究科教科教育専攻 平成 18 年修了	
◆ 学 内 職 務 (平成 30 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 教職支援委員 ▪ 教職カリキュラム委員 ▪ 宗教委員 		<ul style="list-style-type: none"> ▪ ピア・サポート 専任教員 ▪ 仏教文化研究所 研究員 ▪ 図書委員
◆ 担当授業科目 (平成 30 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 教科教育法 (英語) I ~ IV ▪ 教育実習指導 		<ul style="list-style-type: none"> ▪ 専門演習 I ~ IV ▪ 英語指導技術演習
◆ 職務上の実績に関する事項 (資格, 免許, 特許, 等)			
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 中学校教諭専修免許状 (外国語) ▪ 高等学校教諭専修免許状 (外国語) 			
◆ 専門研究分野		◆ キーワード	
英語教育	リメディアル教育	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 自律学習者 ▪ 英語リメディアル教育 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ CLIL ▪ Reflective teaching
◆ 研究概要	CLIL を通じた授業の実践、自立学習者育成のための英語リメディアル教育		
◆ 所属学会	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 全国英語教育学会 ▪ 日本リメディアル教育学会 		<ul style="list-style-type: none"> ▪ 中国地区英語教育学会 ▪ 神戸英語教育学会
◆ 主要著書 (5 件程度)			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 			
◆ 主要論文 (5 件程度)			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 新教授法の導入と実践の功罪 - 内容言語統語型学習 (CLIL) を例に - 	共	平成 30 年 1 月 31 日	神戸英語教育学会紀要『KELT』第 33 号
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 大学英語教育における CLIL の実践を考える 	単	平成 29 年 9 月 25 日	四天王寺大学教育研究実践論集第 4 号
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 大学入学前指導を通じた Active Learning の一実践報告 	単	平成 28 年 9 月 25 日	四天王寺大学紀要 第 62 号
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 英語教職科目における Oral Introduction の効果的指導法についての一考察 	単	平成 28 年 3 月 25 日	四天王寺大学教育研究実践論集 創刊号
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 大学英語リメディアル教育再考 	共	平成 25 年 3 月 22 日	鳥取大学地域学論集 第 9 巻第 3 号

◆ その他（5件程度）			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
学会発表「英語で授業を行うということの是非について」	単	平成 27 年 12 月 12 日	言語文化学会 第 29 回
講演会発表「日本人にとって英語とは何かを考える」	単	平成 28 年 1 月 10 日	羽曳野市 市民大学講座
講演会発表「イギリスを巡る－歴史と教育の旅」	単	平成 28 年 7 月 16 日	四天王寺大学あべのハルカス公開講座 教養と好奇心で巡る世界の旅 partIV
学会発表「CLIL を援用した授業実践を考える －初等・中等・高等教育における試み－」	共	平成 29 年 5 月 6 日	神戸英語教育学会 第 20 回研究大会
講演会発表「日本の大学生に求められる英語力とは」	単	平成 29 年 5 月 28 日	羽曳野市 市民大学講座